

北小中図書館だより

2025 年 12 月

毎年恒例のアドヴェント・カレンダーを展示しています。

周りを取り巻いているのは、図書委員が選んだ今年の冬に読むのにぴったりの本です。今日何を讀もうかなと迷ったときには、アドヴェント・カレンダーのカードの窓をそっと開いてみてください。今日の日付のところを開けても、自分の好きな数字の窓を開けても、その日出会う本の表紙が現れます。どの本もはずれなし。きっと良い思い出になりますよ。

注目の新着図書情報

『この世は生きる価値がある』 長谷川 まりる

この本の主人公は、人間ではありません。この世に生きたことがない「魂」なのです。「魂」はどうしても「この世で生きる」ということをしてみたくて天上界を逃げ出します。そして、病気で死んだ中学2年生の男子の体に入り込み、この世で1年間だけ生きるのですが…。「この世で生きる」ことははたして楽しかったでしょうか？

『出戻りて、奈良。シカ県民やりなおし日記』 蟹 めんま

東京で暮らしていた漫画家が、生まれ育った奈良に帰ってきて奈良を再発見！！

『いただきます。人生が変わる「守衛室の師匠」の教え』 喜多川泰

高校卒業後バイトを転々としていた19歳の翔馬は、大学の警備員の仕事につく。3人の同僚は老人ばかり。守衛室の前を通るのは自分と同じくらいの歳の大学生。こんな仕事すぐやめてやと思っていた翔馬だったが…

『小鳥遊さんの京菓子暦』 杉元 晶子

京都東山を舞台にした、季節をめぐる和菓子ミステリー。和菓子大好きな高1の鞠とクラスメイトの翔がほっこり解決。

図書委員の おすすめ本

「3分間サバイバル絶対絶命^{危険}生物の世界」
作者 栗生 こづえ

おすすめのポイント

この本はいろんなシリーズがあって読み終わってもあきないし、3分間でくりなげられるミステリーや物語は危険生物の危険な所が知れます。その他にも短い話なので頭に入りやすく、深いです。知識も増えて、おもしろい話ばかりなのでみなさんぜひ手に取って一度、読んでみてください。

1年1組